



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月10日  
東・名

上場会社名 株式会社ヨシックスホールディングス 上場取引所  
コード番号 3221 URL <https://yossix.co.jp/>  
代表者 (役職名)代表取締役会長CEO (氏名)吉岡 昌成  
問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経営企画室室長 (氏名)松岡 龍司 (TEL)052(932)8431  
定時株主総会開催予定日 2024年6月25日 配当支払開始予定日 2024年6月26日  
有価証券報告書提出予定日 2024年6月26日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	21,117	23.6	2,322	228.9	2,538	38.4	1,809	88.1
2023年3月期	17,089	99.1	706	—	1,834	△40.1	961	△48.2
(注) 包括利益	2024年3月期 1,810百万円 (88.3%)		2023年3月期 961百万円 (△48.2%)					

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	175.06	175.00	19.4	19.1	11.0
2023年3月期	94.05	93.84	11.3	15.4	4.1
(参考) 持分法投資損益	2024年3月期 -百万円		2023年3月期 -百万円		

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	14,572	9,902	68.0	971.87
2023年3月期	12,060	8,789	72.9	851.44
(参考) 自己資本	2024年3月期 9,902百万円		2023年3月期 8,789百万円	

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	3,785	△1,340	△872	7,717
2023年3月期	1,613	△509	△699	6,144

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00	246	25.5	2.9
2024年3月期	—	12.00	—	14.00	26.00	266	14.9	2.9
2025年3月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00		16.8	

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	22,433	6.2	2,386	2.7	2,617	3.1	1,701	△6.0	167.01

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
新規 — 社（社名）— 、 除外 — 社（社名）— : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	10,361,000 株	2023年3月期	10,323,200 株
② 期末自己株式数	2024年3月期	172,286 株	2023年3月期	351 株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	10,335,547 株	2023年3月期	10,224,733 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことにより、個人消費の持ち直し及びインバウンド需要の回復が見られ、社会経済活動が活発化いたしました。その一方で、長期化するロシアのウクライナ侵攻による燃料価格高騰、円安による物価の上昇があり、依然として先行きの不安定な状況が続いております。外食業界におきましても同様で、国内消費が徐々に回復しつつありましたが、燃料価格高騰や物価高による食材価格の上昇の影響を受けており、厳しい状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは、「や台ずし」を中心に新規出店及び業態転換を実施いたしました。新エリアの開拓としましては、長野県1号店として2023年6月にや台ずし松本駅前町、宮崎県1号店として2024年2月にや台ずし西橋町を出店いたしました。

新業態としましては、手仕込み餃子を売りにした「ひとくち餃子の頂 新大宮駅前店」を4月に奈良県にオープンいたしました。当業態は主力業態である「や台ずし」の近隣にも出店できる業態であり、近年の需要に合わせ、餃子の店頭販売を実施しており、テイクアウトにも注力可能な業態として開発いたしました。その後、1月に高知大橋通店、2月に阪神尼崎駅北口店を出店し、エリアを拡大しております。

飲食事業の主力業態である「や台ずし」業態は新規出店19店舗を実施し、店舗数が323店舗（フランチャイズ含む）、総店舗数の92.8%を占め、当業態の売上高は19,543百万円となりました。また、均一低価格居酒屋である「ニパチ」業態は、店舗数が14店舗、総店舗数の4.0%を占め、当業態の売上高は638百万円となりました。

以上の結果、店舗数につきましては、新規出店22店舗、退店6店舗を実施し、当連結会計年度末の店舗数は348店舗（フランチャイズ含む）となりました。その上で、当連結会計年度における売上高は21,117百万円（前年同期比23.6%増）、営業利益は2,322百万円（前年同期比228.9%増）、経常利益は2,538百万円（前年同期比38.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,809百万円（前年同期比88.1%増）となりました。

一方、建装事業につきましてはグループ会社の強みとして最大限活用し、店舗展開する際のイニシャルコストの徹底的な抑制、投資回収の早期実現等の達成に大きく寄与しました。

なお、当社はセグメント情報の記載を省略しているため、セグメントごとの業績の記載を省略しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は14,572百万円、負債は4,669百万円、純資産は9,902百万円であり、自己資本比率は68.0%となりました。

#### (流動資産)

流動資産につきましては前連結会計年度末に比べ2,054百万円増加し、10,893百万円となりました。これは主に現金及び預金が2,052百万円増加したことによるものであります。

#### (固定資産)

固定資産につきましては前連結会計年度末に比べ456百万円増加し、3,678百万円となりました。これは主に建物及び構築物が148百万円増加、繰延税金資産が76百万円増加したことによるものであります。

#### (流動負債)

流動負債につきましては前連結会計年度末に比べ1,409百万円増加し、3,938百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が588百万円増加、未払法人税等が529百万円増加したことによるものであります。

#### (固定負債)

固定負債につきましては前連結会計年度末に比べ10百万円減少し、731百万円となりました。これは主に長期借入金が10百万円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

純資産につきましては前連結会計年度末に比べ1,112百万円増加し、9,902百万円となりました。これは主に自己株式の取得により500百万円減少した一方、利益剰余金が1,561百万円増加したことによるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べて1,572百万円増加し、7,717百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は、3,785百万円（前年同期は1,613百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益2,637百万円によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は、1,340百万円（前年同期は509百万円の使用）となりました。これは主に、定期預金の増減額480百万円、固定資産の取得による支出759百万円によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は872百万円（前年同期は699百万円の使用）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出502百万円、配当金の支払額248百万円によるものであります。

### (4) 今後の見通し

2025年3月期につきましても、「元気を持って帰ってもらう店なんやで」という基本理念を実現するため尽力してまいります。

新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の停滞から完全に脱し、国内の経済活動やインバウンド需要の更なる高まり等、旺盛な経済活動が期待される一方で、ロシアとウクライナやイスラエルと中東地域において紛争が勃発しており、世界的なエネルギー・食糧価格の高騰に加え、日米の金利差による急激な為替変動等により、景気後退が懸念されるなど、引き続き不透明な状況が続くことが予想されます。

以上に基づき、2025年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高22,433百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益2,386百万円（同2.7%増）、経常利益2,617百万円（同3.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,701百万円（同6.0%減）と予想しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは日本国内において事業を展開しており、海外での活動がないことから当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移及び国内他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,844,649	9,897,144
売掛金	428,642	492,885
原材料及び貯蔵品	174,846	187,548
その他	391,545	316,308
流動資産合計	8,839,683	10,893,887
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,819,881	1,968,127
土地	365,486	365,486
その他（純額）	147,735	319,970
有形固定資産合計	2,333,103	2,653,584
無形固定資産		
その他	3,557	3,470
無形固定資産合計	3,557	3,470
投資その他の資産		
投資有価証券	136,809	105,059
繰延税金資産	187,921	264,336
その他	559,832	651,748
投資その他の資産合計	884,562	1,021,144
固定資産合計	3,221,224	3,678,199
資産合計	12,060,907	14,572,086

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	670,320	1,258,434
1年内返済予定の長期借入金	124,992	10,448
未払金	670,767	902,060
未払法人税等	104,401	633,838
その他	959,161	1,134,101
流動負債合計	2,529,643	3,938,882
固定負債		
長期借入金	10,448	-
役員退職慰労引当金	517,368	542,710
その他	214,201	188,380
固定負債合計	742,017	731,090
負債合計	3,271,660	4,669,973
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	336,084	361,315
資本剰余金	364,189	389,420
利益剰余金	8,088,460	9,649,596
自己株式	△712	△500,985
株主資本合計	8,788,021	9,899,346
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,226	2,767
その他の包括利益累計額合計	1,226	2,767
純資産合計	8,789,247	9,902,113
負債純資産合計	12,060,907	14,572,086

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	17,089,433	21,117,309
売上原価	6,112,607	7,028,142
売上総利益	10,976,826	14,089,166
販売費及び一般管理費	10,270,689	11,766,776
営業利益	706,136	2,322,390
営業外収益		
協賛金収入	185,016	204,992
雇用調整助成金	179,509	-
新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金	777,368	-
その他	27,302	51,836
営業外収益合計	1,169,196	256,828
営業外費用		
支払利息	105	6
自己株式取得費用	21,271	2,146
自己株式処分費用	16,456	-
支払解決金	-	35,500
その他	3,339	3,516
営業外費用合計	41,172	41,169
経常利益	1,834,160	2,538,049
特別利益		
固定資産売却益	2,747	3,052
受取補償金	-	161,224
特別利益合計	2,747	164,276
特別損失		
固定資産除却損	14,640	6,728
減損損失	375,152	56,602
その他	2,400	1,417
特別損失合計	392,193	64,748
税金等調整前当期純利益	1,444,714	2,637,577
法人税、住民税及び事業税	548,244	904,654
法人税等調整額	△65,189	△76,414
法人税等合計	483,055	828,240
当期純利益	961,658	1,809,337
親会社株主に帰属する当期純利益	961,658	1,809,337



## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	961,658	1,809,337
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	213	1,540
その他の包括利益合計	213	1,540
包括利益	961,872	1,810,878
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	961,872	1,810,878

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	335,989	364,094	7,547,265	△712	8,246,636
当期変動額					
新株の発行(譲渡制限付株式報酬)					-
新株の発行(新株予約権の行使)	95	95			190
剰余金の配当			△246,055		△246,055
親会社株主に帰属する当期純利益			961,658		961,658
自己株式の取得				1,271,500	1,271,500
自己株式の処分			△174,408	△1,271,500	△1,445,908
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	95	95	541,194	-	541,384
当期末残高	336,084	364,189	8,088,460	△712	8,788,021

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,012	1,012	8,247,648
当期変動額			
新株の発行(譲渡制限付株式報酬)			-
新株の発行(新株予約権の行使)			190
剰余金の配当			△246,055
親会社株主に帰属する当期純利益			961,658
自己株式の取得			1,271,500
自己株式の処分			△1,445,908
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	213	213	213
当期変動額合計	213	213	541,598
当期末残高	1,226	1,226	8,789,247

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	336,084	364,189	8,088,460	△712	8,788,021
当期変動額					
新株の発行（譲渡制限付株式報酬）	23,540	23,540			47,080
新株の発行（新株予約権の行使）	1,691	1,691			3,382
剰余金の配当			△248,201		△248,201
親会社株主に帰属する当期純利益			1,809,337		1,809,337
自己株式の取得				△500,272	△500,272
自己株式の処分					-
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	25,231	25,231	1,561,136	△500,272	1,111,325
当期末残高	361,315	389,420	9,649,596	△500,985	9,899,346

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,226	1,226	8,789,247
当期変動額			
新株の発行（譲渡制限付株式報酬）			47,080
新株の発行（新株予約権の行使）			3,382
剰余金の配当			△248,201
親会社株主に帰属する当期純利益			1,809,337
自己株式の取得			△500,272
自己株式の処分			-
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1,540	1,540	1,540
当期変動額合計	1,540	1,540	1,112,866
当期末残高	2,767	2,767	9,902,113

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,444,714	2,637,577
減価償却費	321,022	359,021
減損損失	375,152	56,602
のれん償却額	46,000	-
受取利息及び受取配当金	△4,206	△1,684
支払利息	105	6
自己株式取得費用	21,271	2,146
自己株式処分費用	16,456	-
支払解決金	-	35,500
固定資産売却益	△2,747	△3,052
固定資産除却損	14,640	6,728
受取補償金	-	△161,224
雇用調整助成金	△179,509	-
新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金	△777,368	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△259,251	37,606
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△36,728	△29,343
仕入債務の増減額 (△は減少)	344,695	489,890
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	28,438	25,342
未払消費税等の増減額 (△は減少)	205,801	185,590
その他	585,123	371,025
小計	2,143,611	4,011,733
利息及び配当金の受取額	4,206	1,684
利息の支払額	△105	△6
法人税等の支払額	△1,490,921	△423,523
法人税等の還付額	-	69,637
解決金の支払額	-	△35,500
補償金の受取額	-	161,224
雇用調整助成金の受取額	179,509	-
新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金の受取額	777,368	-
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,613,668</b>	<b>3,785,249</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	-	△480,000
投資有価証券の取得による支出	△100,000	△9,880
投資有価証券の売却による収入	50,000	-
投資有価証券の償還による収入	-	3,000
固定資産の取得による支出	△435,320	△759,502
固定資産の売却による収入	2,747	3,052
差入保証金の差入による支出	△30,641	△40,080
差入保証金の回収による収入	12,396	19,140
貸付けによる支出	-	△54,000
貸付金の回収による収入	-	800
その他	△8,749	△23,178
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△509,568</b>	<b>△1,340,648</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△191,660	△124,992
株式の発行による収入	190	3,382
自己株式の取得による支出	△1,292,771	△502,418
自己株式の処分による収入	1,080,635	-

連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△50,000	-
配当金の支払額	△245,929	△248,077
財務活動によるキャッシュ・フロー	△699,535	△872,106
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	404,565	1,572,494
現金及び現金同等物の期首残高	5,740,084	6,144,649
現金及び現金同等物の期末残高	6,144,649	7,717,144

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループは「飲食事業」、「建装事業」及び「投資事業」を行っております。当社報告セグメントは「飲食事業」のみであり、他の事業セグメントは重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

2 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外のサービスの区分の外部顧客への売上高がありませんので、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がありませんので、記載を省略しております。

4 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	851.44円	971.87円
1株当たり当期純利益	94.05円	175.06円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	93.84円	175.00円

(注) 1 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期利益(千円)	961,658	1,809,337
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	961,658	1,809,337
普通株式の期中平均株式数(株)	10,224,733	10,335,547
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	23,306	3,575
(うち新株予約権)(株)	(23,306)	—

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	8,789,247	9,902,113
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	10,322,849	10,188,714

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。